

# 資料 6

## 第2期

# 始良市子ども・子育て支援事業計画 （中間見直し版）【案】



令和5年3月

始良市

### Ⅲ 事業計画の見直しについて

## 第3章 事業計画

#### 1 教育・保育提供区域の設定

子ども・子育て支援法では、本計画において、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を提供する区域を定め、区域ごとに今後5年間の需要量の予測を表す「量の見込み」と「量の見込み」に対する「確保方策」を定めることを求めています。

本市においては、①保護者や子どもが利用しやすい範囲であるか、②事業量を適切に見込み、確保できる単位であるかの視点により検討を行った結果に基づき、「市全域」を提供区域として設定します。なお、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）については、現状を踏まえ、小学校区を運用における基本単位として実施します。

#### 2 教育・保育の提供体制の確保

「量の見込み」については、各サービス等の利用状況、今後の児童数予測、ニーズ調査により把握した保護者からのニーズ等を基に算出しました。

「確保方策」については、保護者からのニーズを踏まえるとともに、各サービス等を提供する事業所等の現状や今後の意向、始良市の状況等を踏まえ、設定しました。

#### ◆ 分類及び認定区分

以下のとおり分類及び認定区分を定めます。

分類	認定区分	児童年齢
・ 1号認定 専業主婦（夫）家庭、就労短時間家庭	1号認定	3～5歳
・ 2号認定（教育希望） 共働きであるが、幼稚園の利用を希望している家庭	2号認定	3～5歳
・ 2号認定（保育希望） 共働き家庭		3～5歳
・ 3号認定 共働き家庭	3号認定	0～2歳

① 【3～5歳】 1号認定及び2号認定（教育希望）

見直しあり

・量の見込みと確保方策

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み	1号	人	917	848	824	484	484
	2号（教育希望）	人				340	340
	合計	人	917	848	824	824	824
②確保方策	特定教育・保育施設	人	769	769	794	799	799
	確認を受けない幼稚園	人	225	225	225	225	225
	特定教育・保育施設	人	994	994	1,019	1,024	1,024
③過不足（②－①）		人	77	146	195	200	200

※令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

・確保の考え方

現時点で提供体制が確保できていると考えられることから、今後も現行体制で対応します。

・見直しの考え方

（量の見込み）

「実績値」と「量の見込み」に10%以上の乖離があるため、R4実績見込み値ベースで下方修正する見直しを行います。

（確保方策）

市内の教育・保育施設の総利用定員及び整備計画に基づき見直しを行います。

令和6年度に必要な定員の数は824人となっていますが、幼稚園、認定こども園の利用定員数は、令和6年度1,024人を見込んでおり、確保方策は余裕がある状況です。

② 【3～5歳】 2号認定（保育希望）

見直しあり

・量の見込みと確保方策

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み	2号（保育希望）	人	1,152	1,128	1,177	1,129	1,144
②確保方策	特定教育・保育施設	人	979	1,010	1,037	1,037	1,054
	地域型保育事業	人	0	0	0	0	0
	企業主導型保育施設 （地域枠）	人	22	22	42	42	42
	合計	人	1,001	1,032	1,079	1,079	1,096
③過不足（②－①）		人	▲151	▲96	▲98	▲50	▲48

※令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

・確保の考え方

確保方策が量の見込みを下回っていることから、定員の弾力化等により可能な限り対応するとともに、既存事業所における定員の拡大、新規保育所等の設置を促進するなど、提供体制の確保を図ります。

・見直しの考え方

（量の見込み）

「実績値」と「量の見込み」に10%以下であることから、原則に基づき見直しは行いません。

（確保方策）

市内の教育・保育施設の総利用定員及び整備計画に基づき見直しを行います。利用定員数は、令和6年度1,096人を見込んでおり、量の見込み（入園児数）を下回るため、既存施設の定員増や運営転換、弾力的運用等によって対応していきます。

③ 【0歳】3号認定

見直しあり

・量の見込みと確保方策

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み		人	82	119	118	115	115
②確保方策	特定教育・保育施設	人	171	180	185	187	190
	地域型保育事業	人	17	23	23	23	23
	企業主導型保育施設 (地域枠)	人	18	18	27	27	27
	合計	人	206	221	235	237	240
③過不足(②-①)		人	124	102	117	122	125

※令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

・確保の考え方

現時点で提供体制が確保できていると考えられることから、今後も現行体制で対応します。

・見直しの考え方

(量の見込み)

「実績値」と「量の見込み」に10%以下であることから、原則に基づき見直しは行いません。

(確保方策)

市内の教育・保育施設の総利用定員及び整備計画に基づき見直しを行います。利用定員数は、令和6年度240人を見込んでおり、0～2歳児については、年度途中からの入園希望が見込まれるため、弾力的運用等によって対応していきます。

④ 【1～2歳】3号認定

見直しあり

・量の見込みと確保方策

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み		人	768	737	730	745	745
②確保方策	特定教育・保育施設	人	548	568	586	589	599
	地域型保育事業	人	36	53	53	53	53
	企業主導型保育施設 (地域枠)	人	43	43	65	65	65
	合計	人	627	664	704	707	717
③過不足 (②-①)		人	▲141	▲73	▲26	▲38	▲28

※令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

・確保の考え方

確保方策が量の見込みを下回っていることから、定員の弾力化等により可能な限り対応するとともに、既存事業所における定員の拡大、新規保育所等の設置を促進するなど、提供体制の確保を図ります。

・見直しの考え方

(量の見込み)

「実績値」と「量の見込み」に10%以下ではありますが、計画期間内平均値ベースで下方修正する見直しを行います。

(確保方策)

市内の教育・保育施設の総利用定員及び整備計画に基づき見直しを行います。利用定員数は、令和6年度717人を見込んでおり、0～2歳児については、年度途中からの入園希望が見込まれるため、弾力的運用等によって対応していきます。

## ⑤ 保育利用率

見直しあり

本計画においては、3歳未満の児童数に占める保育の利用定員の割合である「保育利用率」について、年度ごとの目標値を設定することが求められています。

本市においては、確保方策として設定した数値等に基づき、以下のとおり設定します。

	単位	実績値			見直し後の計画値	
		R2	R3	R4	R5	R6
①推計児童数（3歳未満）	人	1,885	1,877	1,904	1,941	1,953
②確保方策（利用定員数）	人	833	885	939	944	957
③保育利用率目標値（②／①）	%	44.2	47.1	49.3	48.6	49.0

※令和2年～4年の値は実績値。

### ・見直しの考え方

推計児童数について、実績値が計画値を下回っていると同時に、確保方策について、見直し前の計画値を上回る見込みであることから、見直しを行います。

### ③ 一時預かり事業

見直しあり

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、保育所やその他の場所で一時的に預かる事業です。幼稚園型は幼稚園の在園児を対象としています。

#### ・量の見込みと確保方策（幼稚園型）

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み	1号	人日				575	575
	----- 2号（教育希望）	人日	19,773	18,949	18,554	19,198	19,198
	合計	人日	19,773	18,949	18,554	19,773	19,773
②確保方策	一時預かり事業 （幼稚園型）	人日	19,773	18,949	18,554	19,773	19,773
		か所	9	10	12	12	12
③過不足（②－①）		人日	0	0	0	0	0

※人日：延べ利用日数。令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

#### ・量の見込みと確保方策（幼稚園型以外）

		単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
			R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み		人日	1,540	853	441	1,000	2,000
②確保方策		人日	1,540	853	441	2,500	2,500
		か所	10	10	12	12	13
③過不足（②－①）		人日	0	0	0	1,500	500

※人日：延べ利用日数。令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

#### ・確保の考え方

利用者のニーズや施設の状況に応じて、量の確保を行うとともに、預かり時間中の安全・安心の確保のための人員の確保や設備等の充実を図ります。



・見直しの考え方

<p>(幼稚園型) 実績値及び実績見込み値が計画値を上回っていることから、見直しを行います。</p> <p>(幼稚園型以外) 実績値及び実績見込み値が計画値を下回っています。不特定多数の児童を預かる事業形態であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が大いに考えられます。新型コロナウイルス感染症の影響を加味しても、年々利用実績（見込）が減少傾向であり、計画値との乖離が大きいことから、見直しを行います。また、令和6年4月開所予定の始良市子育て支援拠点施設子ども館においても本事業を実施予定です。</p>
---

④ 延長保育事業（時間外保育）

見直しあり

保育時間の延長に対する需要に対応するために、11時間の保育所開所時間を超えて保育を行う事業です。

・量の見込みと確保方策

	単位	実績及び実績見込み値			見直し後の計画値	
		R2	R3	R4	R5	R6
①量の見込み	人	599	656	583	800	800
②確保方策	人	599	656	583	800	800
	か所	26	28	29	29	30
③過不足（②－①）	人	0	0	0	0	0

※令和2年～3年の値は実績値、令和4年の値は実績見込み値。

・確保の考え方

<p>現時点で提供体制が確保できていると考えられますが、保護者の就業形態の多様化等に伴い、ニーズが増加することも考えられることから、利用者のニーズや施設の状況に応じて、量の確保を行うとともに、更なる時間延長の可能性、設備等整備や人材の確保等についての課題整理を通して、課題解決に向けた具体的な取組について事業者等との調整を図ります。</p>
--

・見直しの考え方

<p>「量の見込み」について、新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、下方修正等の見直しは行いません。確保方策については、令和4年度実績見込みベースで見直しを行います。</p>
--